

令和5年第10回京田辺市教育委員会定例会議事日程

令和5年10月27日(金)

午前10時開会

保健センター第1保健指導室

- 1 開会宣告
- 2 議事日程報告

---

- 3 日程第1 教育行政報告
- 4 日程第2 報告第14号 令和6年度京田辺市立幼稚園・こども園(幼稚園  
枠)の募集結果について
- 5 日程第3 報告第15号 令和5年度小学校水泳授業民間委託の試行結果につ  
いて
- 6 日程第4 報告第16号 令和5年度京田辺市一般会計補正予算(第4号)に  
ついて
- 7 日程第5 議案第48号 京田辺市立小学校及び中学校の管理運営に関する規  
則の一部改正について
- 8 日程第6 協議 京田辺市学校給食センターの設置及び管理に関する  
条例の制定について
- 9 日程第7 協議 京田辺市学校給食費の徴収に関する条例の制定につ  
いて
- 10 閉会宣告

令和5年第10回京田辺市教育委員会定例会

教育行政報告

R05/09/21 ~ R05/10/27

1. 教育行政報告

9月

21日 (木)	決算特別委員会 (現地調査)	学校給食センター他
22日 (金)	第1回いじめ防止対策推進委員会	403会議室
23日 (土)	みんフェス2023～京田辺みんなの働くプロジェクト～	多目的運動広場
26日 (火)	社会教育委員会議	305会議室
	第2回学校教育審議会	305会議室
27日 (水)	山城教育局指導主事計画訪問	田辺小学校
	市議会本会議 (一部採決 他)	議場
28日 (木)	山城教育局指導主事計画訪問	薪小学校
29日 (金)	辞令交付式	教育長室・305会議室
	決算特別委員会 (部局別審査)	委員会室

10月

1日 (日)	第38回京田辺市民詩吟詩舞発表会	中央公民館
2日 (月)	上村委員任命書交付式	市長室
3日 (火)	経営会議	403会議室
	市指導主事計画訪問	松井ヶ丘幼稚園
	部落解放同盟田辺支部懇談会	305会議室
4日 (水)	市小学校児童陸上運動交歓記録会	山城総合運動公園
	市議会本会議 (追加議案)	議場
5日 (木)	市指導主事計画訪問	三山木小学校
	自衛消防隊訓練	多目的運動広場
8日 (日)	普賢寺小学校創立150周年記念式典	普賢寺小学校
9日 (月)	京都田辺剣友会創立60周年記念剣道錬成大会	中央体育館
	第38回京田辺市民音楽祭	文化パーク城陽
10日 (火)	市指導主事計画訪問	田辺東小学校
12日 (木)	市指導主事計画訪問	桃園小学校
14日 (土)	大住隼人舞奉納	月読神社
16日 (月)	決算特別委員会 (総括質疑)	委員会室
17日 (火)	学校選択制度保護者説明会	培良中学校
	文教福祉常任委員会懇談会	教育支援センター
20日 (金)	市議会本会議 (採決等)	議場
	表敬訪問(T-SQUARE京都)	305会議室
22日 (日)	第39回京田辺市マラソン大会	田辺木津川運動公園
	ミニコンツェルト&アンサンブル体験会(京田辺音楽家協会)	中央公民館
24日 (火)	平和都市推進協議会	403会議室
26日 (木)	市指導主事計画訪問	田辺幼稚園
	市民まつり実行委員会第6回総会	305会議室
27日 (金)	第10回教育委員会定例会	保健センター

2. 議会報告

令和5年決算特別委員会部局別審査及び総括質疑概要について

部局別審査	P 1	～	P 18
総括質疑	P 19	～	P 24

## 決算特別委員会審議状況報告書

令和5年9月29日（金）開催分

部局等名（教育部）

質 問		回 答	
質問者	内 容	答 弁 者	内 容
<p>国重昂平委員 （自民一新会）</p>	<p>【令和4年度京田辺市一般会計歳入歳出決算認定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園の来年度の入園申込数は。</li>   <li>・2桁を割っている園もあると聞いており、再編整備計画に沿ってこども園化が進むと思うが、現状のままでは通園距離の問題が出てくると思う。子育て世帯が公立幼稚園を選択できる対策が必要であるが、市の考えは。</li>   <li>・通学距離の問題で、公立幼稚園に行きたいが行けないという状況に対して対策をしなければならないと思うがどうか。</li> </ul>	<p>輝くこども 未来室担当 課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大住こども園含め8園の内、田辺幼稚園は3歳児の募集を停止するため、実質7園で合計85名の申込があった。</li>   <li>・公立幼稚園の良さは、遊びを主体として教育・保育を提供していくことを特色としている。各園で人数が減少しており、各園で様々なPR活動を行っており、どういう教育・保育を提供しているかを周知することで増加につなげたい。</li>   <li>・公立幼稚園を選択されない理由に、給食の提供がないことや、仮に車での通園を許可したとしても、駐車場がないといった施設整備も必要になるため、一朝一夕にはできない。保護者の要望は聞いているため今後検討する必要はある。こども園化の過程の中で提供できるサービスも出てくるかと考えている。</li> </ul>

<p>岡本亮一委員 (日本共産党 京田辺市議会 議員団)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援教室の利用人数は。</li>   <li>・教育支援センターの相談数、問合せ数は。</li>   <li>・それは想定していた程度か。</li>   <li>・支援センターになり、増えたことは前進と考えるので、今後とも取組の充実をお願いしたい。</li>   <li>・資料より、市内で就学援助を受けている子どもは6～7人に1人いる。昨今の物価高騰等による生活の厳しさがこういったところに関わってきていると思うがどのように考えているか。</li>   <li>・就学援助の率は地域により格差があり、厳しい状況が見られるが、その点はどのように見ているか。</li>   <li>・就学援助を受けていない家庭にも、昨今の物価の影響はあるということは認識いただきたい。</li> </ul>	<p>こども政策 監</p> <p>こども・学校 サポート室総 括指導主事</p> <p>学校教育課 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・距離の件は、こども園化を進める中で、民間も含め新しい施設も作るので、ニーズも踏まえながら市全体のバランスをみて考えていきたい。</li>   <li>・令和4年度で延べ728名が利用した。</li>   <li>・15件ほど問合せがある。</li>   <li>・想定よりも少し多く反響があったと考えている。</li>   <li>・就学援助について、数字自体は減っているが、率は大きくは変化しておらず、引き続き援助に務めていきたい。</li>   <li>・地域により差があるのは事実で、複合的な要因があると考えている。</li> </ul>
--	--	--	--

<p>河田美穂委員 (公明党)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援教室について、延べ人数ではなく実質の人数はどれぐらいか。</li>   <li>・不登校の方は100名以上いるので、その方が少しでも誰かと接することができるように、人数の拡充についてはどう考えているか。</li>   <li>・突然不登校になる子もいる。不登校気味かどうかを問わず、子どもたちにも色々な学びの場があると広めて欲しいがどうか。</li>   <li>・児童生徒全員に選択肢がたくさんあることをアピールすることについて、教育支援センターが中心となって欲しいと思うがどうか。</li>   <li>・相談に来たときでは遅いと思う。選択肢がたくさんあることを子どもにも保護者にも教えていただきたい。</li> </ul>	<p>こども・学校 サポート室総 括指導主事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質登録者数について、教育支援教室は13名、教育支援教室別室は3月時点で7名。</li>   <li>・不登校の子どもたちの個々に応じた居場所という考え方を大切にしている。教育支援センターに即した子どもは受け入れていきたい。学校から報告の挙がっている不登校の子どもたちは、学校とのつながりを持ちながら支援を行っている。</li>   <li>・子どもたちが居場所があることを把握することは大切。子どもや保護者の思いを取り入れつつ、教育支援センターの啓発はしっかりとしていきたい。</li>   <li>・子どもたちがあらかじめ情報を知っていることは大切。一方で子どもたちは頑張りたいという気持ちを多く持っている。子どもたちの様子をしっかりと捉え、どうしていききたいかを子どもたちと一緒に考え、選択肢を広げさせていきたいと考えている。</li> </ul>
-------------------------	--	------------------------------------	---

<p>南部登志子委員 (日本維新の会・無所属南部の会)</p>	<p>・ニュース等でも発達障害やグレーゾーンの人が増えてきたと言われているが、現場でもそういう認識なのか。</p> <p>・社会で問題になっている、不登校やいじめ、借金、転職、虐待、犯罪の繰り返しの背景に、発達に課題がある人を社会が受け入れない仕組みになっていることが一因と考えているが、そのように認識されているか。</p>	<p>子育て支援課担当課長</p> <p>こども・学校サポート室総括指導主事</p>	<p>・就学前の子どもの発達相談で、保護者が心配され、検査数や相談数が増えていると認識している。一方で保護者が多くの情報を得る中で心配されるが、検査の結果、発達の偏りは見られないケースもある。</p> <p>・小中学校でも情報やカテゴライズが多く出てくることで、どんな支援が必要かということがより求められると言う意味で増えているのではないかと考えている。</p>
<p>有田幸平委員 (日本維新の会・無所属南部の会)</p>	<p>・薪幼稚園のトイレの改修について、現地調査で見たと、新しく土間を打ち直したにもかかわらずシミができていた事について把握しているのか。</p> <p>・かなり気になるシミで、原因の調査をしていただきたい。</p>	<p>子育て支援課担当課長</p> <p>輝くこども未来室担当課長</p>	<p>・発達に課題のある子どもは、人との関わりに課題があることがある。将来人と上手く関われるようにという視点で支援を行っている。</p> <p>・発達に課題があるだけでなく、二次障害の課題もあり、検査等の客観的な資料を基に早期にどう手立てを打つかが大切であり、また周りの子どもとお互いが理解し合うという学びも必要。</p> <p>・どの程度のシミかと言うことも含め把握できていない。</p> <p>・全面リニューアルで配管から漏れることは考えにくいですが、担当している建設部の技師と確認しながら必要な対策があれば対応したい。</p>

<p>橋本善之委員 (自民一新会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場を見て、原因を調べていただきたい。 トイレの洋式化率が、草内小学校、田辺東小学校、培良中学校が低い。培良中学校は特色化を目指すにあたって洋式化も進めるべきと思うが見解はどうか。</li> <li>・個人的には小学校に和式トイレの必要性は感じていないので、全ての学校で90%以上普及させていただきたい。</li> <li>・児童虐待防止推進事業の実績145名は、啓発活動と研修会等への参加人数と書かれているが、留守家庭児童会指導員への研修会と、市民向け講座4回、子どもの虐待防止のための子育て講演会の3つを合わせた人数か。</li> <li>・参加者の内訳は。</li> <li>・全小中学校にタブレットを導入された効果はどうか。</li> </ul>	<p>学校教育課長</p> <p>子育て支援課長</p> <p>教育指導監</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの学校は児童数が少ないことから、児童一人あたりの洋式化率では遜色ない。現在長寿命化改修工事を行っている田辺小学校でもトイレの洋式化を進ることとしており、機会を捉えて順次進めていきたい。</li> <li>・おっしゃるとおり、これらの合計人数である。</li> <li>・留守家庭児童会指導員の研修会の参加者は32名。市民向け講座4回はそれぞれ20名前後。子育て講演会は35名。</li> <li>・授業における使用頻度は小中学校共にほぼ日常化しており、全ての教科で使用している。情報活用能力や端末操作力は大きく伸びたが、学力との関係は現時点では把握できていない。数値では測定できない非認知能力の中で、協調性、計画性、自ら学ぼう</li> </ul>
---------------------------	---	---	---



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットがなかったときは、子ども同士が班で話し合いをしていたが、そういった機会はどうか。</li>   <li>・人前で自分の意見を言えるためのツールとして大変良いかと思う。子ども同士の横連携が上手くいっているかが心配であったが、現場の先生方に十分お願いしたい。3年前の導入時、ついていけない先生がいなか心配であったがそれについてはどうか。</li>   <li>・先生方も努力いただいている。これを導入したことにより、先生方の労働時間についてはどうか。</li>   <li>・先生方にもよい影響があったと解釈した。不登校の子どもたちへの対応はどうか。</li> </ul>	<p>とする意欲や粘り強さ等は、現場の指導者の実感としては伸びつつあるように思われている。ICT機器を効果的に活用することにより、学習への意欲がこれまで以上に高まっていくと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでは話し合い活動がメインであったが、タブレットの中でグループの意見を集約して、子どもたちが発表しており、一つのコミュニケーションのツールとして役立っている。</li>   <li>・導入時、操作が苦手な教員も実際にいた。学年や学校全体で研修をすることで、全ての教員が普段の授業で活用できるようになりつつある。</li>   <li>・タブレット端末の普及により、紙媒体の学習が減り、準備するプリントの作成や印刷、配布の作業が軽減された。またタブレットを活用した研修や職員会議により、ペーパーレス化を図り業務の効率化に努めている。</li>   <li>・タブレットは不登校児童生徒にも整備しているが、本人や保護者のニーズは低い状況。保護者の多くは、まずは情緒の安定を図り、穏やかな生活を望んでおられる。学校生活への拒否感や嫌悪感がある</li> </ul>
--	---	--

<p>南部登志子委員 (日本維新の会・ 無所属南部の 会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの、外国人の児童生徒への活用はどうか。</li> <li>・日常会話と学習と思考の言語は違う。小さいほど2言語を併用することで思考力に影響が出るという研究があるが、教育委員会としてそういう研修に取り組まれているのか。支援員がついてもテクニックが必要であると思うが、現状の取組はどうか。</li> <li>・国外との行き来も増えており、京田辺市でも増えると思われるので、そういった取組も進めていただきたい。2言語を使えることは、子どもにとってネックになるが、上手く使えるようになると将来世界で活躍できる財産になる。そのために最初の小学校の教育が非常に大切。同志社にも研究されている先生がおられ、その強みも生かして取り組みを進めてもらいたい。</li> <li>・学校給食について、地元食材を使う取組をされており、みそは地元の物を使っておられるが、天王味噌は平成30年度以降製造されていないのか。</li> </ul>	<p>学校教育課 長</p> <p>こども・学校 サポート室総 括指導主事</p> <p>学校給食課 長</p>	<p>ことから、タブレットを使う事への嫌悪感があることも要因と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で日本語が話せない外国籍の児童生徒が増加している。その対応については、母国語の支援員を配置したり、ポケトークを利用している。</li> <li>・研修については現在のところ行っていない。</li> <li>・みそは天王と高船から納入いただいている。</li> </ul>
---	--	--	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・天王のみそは平成30年度以降載っていないが。</li> <li>・みそは在庫がなく市民には手に入らない状況が続いている。地元の味噌を食べたいというニーズは多く、学校は京田辺のみそを使っているのか、在庫がなくなれば提供できない状況なのか。</li> <li>・アレルギーの子どもも増えているが、地元の食材をためることは体に良いこと。生産者の育成の意味でも非常に重要であり、きちんと注意を払っていただきたい。まもなく中学校給食も始まるが、地元の食材が使われる予定であるのか、使われるなら割合はどれぐらいか。</li> <li>・みそは今でも不足しており、中学校給食が始まれば絶対に不足する。今からどういう生産計画を立ててもらえるのか、教育委員会が農政課と一緒に取り組まなければならない。業者にはもう登録してもらっているのか。今から登録し、生産計画を立ててもらえないと間に合わないがどうか。</li> <li>・生産者は献立に合わせて生産することはできない。生産に合わせて献立を考える方法もある。地元のを少しだけ使っているというのではダメで、教育委員会として関心を持ち、生産者に生産計画を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おっしゃるように資料に記載が無いため、調べて回答する。</li> <li>・京田辺のみそを使っていることは把握しているが、小学校給食の食材は各学校で購入されているため、確認した後ほど回答させていただきたい。</li> <li>・中学校給食の食材は登録業者から購入することになる。できるだけ市内産を使うが、不足分は一般物資として購入せざるを得ない。</li> <li>・ベースとなる献立を現在作成中であり、それに伴っての対応となる。</li> <li>・給食の食材確保について、生産者のニーズもあり、農政課と連携し調整を進めていきたい。</li> </ul>
--	--

立ててもらい、量を確保していくかということが必要になる。現状小学校給食だけでも厳しい状況であれば、中学校給食の開始により1.5倍になれば非常に厳しいが、農政課と連携が取れているのか。

・これからされるのか。生産者からはどうするのかと不満を聞いている。いきなり生産してくれと言われてもできないと聞いている。

・「まるごと京都の日」は1回だけで、そんなことで地元の食材で給食を提供してと言わないで欲しい。生産者と少なくとも1年前にはきちんと計画を練って欲しい。京田辺の田畑を守り、生産者を育成するという大きな課題があり、しっかり連携を取って進めていただきたい。

昔、大型スーパーが来的时候に、商工会との協定で、学校給食の食材は市内の個人商店から納入するという取り決めが交わされていた。文書は商工会にも教育委員会にも残っていないが、商店は覚えておられ、現在も市内個人商店から食材が卸されている。以前は月ごとに納入する業者について表がFAX送付されていたが、今は止まっており、止められた理由を知りたい。

・これまで送られていた計画表がこの2～3年、突

・小学校給食については「まるごと京都の日」という地元産を100%使う取組の中で、年間を通して事前に調整している。中学校給食の食材についても、地元と農政課と調整を進めていきたい。

・給食の食材は登録業者の中でできるだけ市内業者から購入している。零細的な業者のため、事前に調整し、ルールを決めて学校に伝えている。

・おっしゃっているFAXについては認識できてい

<p>岡本亮一委員 (日本共産党 京田辺市議会 議員団)</p>	<p>然なくなったのはなぜかを聞いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答弁されたようになっていないと業者から聞いている。一覧表があったときは全体の状況がわかったので、うちもこうしたいということが言えたが、今はわからない。例えば松井ヶ丘小学校と大住小学校に納入する場合は時間的ロスはないが、松井ヶ丘小学校と普賢寺小学校へ納入となれば、時間的ロスが発生し、例えばキャベツに虫が入っていたら取り替えに走らなければならない。またあるときから納入は前日ではなく当日朝にしなければならなくなり、業者は奔走している。そういったところから地元業者を守っていく精神が見られない。中学校給食が始まればまた新たな負担が増える。今日中に答弁をお願いしたい。</li> <li>・令和4年度の小学校プールあり方検討事業の実績や内訳は。</li> <li>・教員が教えるのが基本であるが、外部のインストラクターが教えることは、学習指導要領との関わりの中でできるものなのか。</li> </ul>	<p>学校教育課長</p>	<p>ない。食材の納入は個人商店の可能な範囲を事前に調整して学校に伝えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認後に答弁させていただく。</li> <li>・天王のみそについては平成30年までは納入いただいていたが、生産者が高齢で給食に提供する量が作れないため辞退したいと申出があった。市内商店へのFAXの送付については、野菜の単価を一覧にした結果表を参考価格として送付していたが、そのことにより価格が高止まりする傾向があったため、辞めた経過がある。</li> <li>・田辺小学校2年生と5年生でそれぞれ5回、コロナで一度行けなくなったが、民間施設において水泳授業を行った。インストラクターの費用も含めた施設使用料と、移動のためのバス代を支出している。</li> <li>・学校の教育活動の中で教員以外が関わることは他にもあり、例えば総合的な学習の時間に社会人講師が地元の民俗について教えるといったことはこれまでからされている。水泳事業の試行にあたっては</li> </ul>
--	--	---------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこまでの範囲で関わって良いのかがわからないが規準はあるのか。</li>   <li>・では責任を持って判断すれば、例えばインストラクターにマット運動や鉄棒、跳び箱等を教えてもらうことも可能と言うことか。</li>   <li>・公教育のあり方を見れば、その辺りをしっかりと分けて行うべき。プールでも、苦手な子も色々な子がいる中で授業を行うことに意味がある。またこれまで各小学校にプールがあることで、その時代の地域の役割を担ってきたこともあり、メリット・デメリットをしっかりと把握して欲しい。</li>   <li>・京田辺市は水泳授業は大切で、行っていくという方向でお願いしたいと思うが、デメリットが何もな</li> </ul>	<p>教員の監督の下で行っており、問題無いと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関わる時間と言うよりも、最終的な責任をどこが取るのかというところではないかと考える。水泳も社会人講師も、最終的な責任は学校や教員の責任の下行うものとする。</li>   <li>・特段の根拠・理由もなくするものではなく、水泳事業については施設のこともあるが、学校のプールが天候に左右され実施が困難であることと、教員の負担軽減の面も合わせて試行を行っているもの。</li>   <li>・プールの施設というよりは水泳事業の位置付けということと考える。日本は国土的に水難事故が多いということがあり、各学校にプールが整備され水泳授業が行われてきた。水泳授業は学習指導要領上、適切な場所がなければ実施しないことができるとされており、プールが老朽化し水泳授業を止める自治体もあるが、我々はしっかりと水泳授業をしていきたいと考えている。今後については、保護者のアンケート等も実施しており、ニーズを踏まえて考えていきたい。</li> </ul>
--	---	--

<p>片岡 勉 (NEXT京 田辺)</p>	<p>いというのはおかしいと思う。他市では移動時間がかかり授業に影響したり、移動の際の安全対策に係る教員の負担や、送迎に係る財政負担が大きく思ったほどコスト削減がはかれなかったといったことがあった。保護者アンケートを取っても、民間のきれいな施設で雨の日もできるという良い結果が出ることは見えているが、デメリットの声もしっかり拾ってもらいたい。隣の幼稚園も小学校のプールを活用しており、そういう地域のプールであるところも念頭に置いて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な就学援助対象者への支給は100%となっているが、小学校は650万円ほど少なく、中学校は300万円ほど少なく済んでいるが、要因は。</li> <li>・学校施設長寿命化事業の主な内訳は。</li> <li>・実施設計に基づいた具体的な改修内容は。</li> <li>・教室の中は改修されたか。</li> </ul>	<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算計上時に過去の推移を見て、令和3年度から令和4年度に増加すると見込んでいたが、結果として対象者数が減ったことによるもの。</li> <li>・主に田辺小学校北校舎の実施設計費、仮設校舎への機械警備等の移設手数料、仮設校舎借上料となっている。</li> <li>・校舎外壁の改修、教室の壁、床の張り替え、複層ガラス導入、職員室のOAフロア化等を行っている。</li> <li>・市内小中学校で初めての取り組みとして、黒板をホワイトボードに変更する。</li> </ul>
--------------------------------	---	---------------	--

<p>南部登志子委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードへの変更は良い話と思う。予算に比べ決算額が500万円少なかったこと理由は。</li> <li>・入札により節約できたと理解しておく。 本市で初めての市立認定こども園整備事業について、予算に比べて6,500万円ほど少なくなっている。令和4年度の途中で工事資材費や労務費の高騰により増額補正を行っていたが、この要因は。</li> <li>・プールの授業について、教員や児童の声はどうか。また今後どのような方法で水泳授業を実施していくのか。</li> <li>・アンケートに基づき考えていくということだが、水泳授業の民間施設利用が実現すれば、プールの活用ということが出てくると思うがこの点はどうか。</li> <li>・給食の食材納入のFAXの件について、生産者と</li> </ul>	<p>輝くこども未来室担当課長</p> <p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計にあたり入札を実施し、その結果減額になった。</li> <li>・主に園舎の直接工事費と備品購入費があり、どちらも入札で決定しているため、その差金が生じている。備品は現場と協議の上リスト化し順次購入したが、大量に購入したため、購入漏れや追加が必要な時のために残しておいた部分がある。工事費については進行管理の過程で工事量が増加することがままあり、加えて最近のインフレスライドに伴う対応を求められることを想定して予算を確保しておく必要があった。運営費の支払いも含め改めて先の見通しを精査し、適切な予算確保に努めたい。</li> <li>・令和4年度と5年度の2か年で試行を実施している。児童はほとんどの方が楽しかったとお答えいただいている。先生からも評判が良く、今年度も同様であった。今後はアンケートの結果を踏まえ、課題点の整理を行った上で進めていきたい。</li> <li>・施設としてのプールのあり方については、給食室のあり方とともに現在調査研究を進めている。</li> <li>・食材の価格高騰については、国の物価高騰に伴う</li> </ul>
----------------	---	-----------------------------------	---



<p>(日本維新の会・無所属南部の会)</p>	<p>仕入れる方でおのずと値段は変わる。また以前は同じ業者がマンモス校で長期休業がない月ばかり納入していることがあり、FAXによりそれを把握できていたが、FAXを辞めたのはそれを隠すためと思われる。公平にしていることがわかる方法の検討が必要。</p> <p>今年度になり毎月のように食材の値段が高騰しているが、その対応はどうしているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田辺東小学校や大住小学校で児童数が減り、1学年1クラスになると学校運営に支障が出てくると思われる。普賢寺小学校は特徴を生かして特認校になった。大住小や田辺東小で実施するのは難しいところもあると思うが、危機的状況を食い止めるために、培良中学校だけでなく、小学校でも対策が必要かと思うがどうか。</li> <li>・特認校制度を取り入れろと言っているのではなく、校長先生に話を聞くと、複式学級になると途端に児童数が減っていくということが地方では起きているので、それを食い止めることをしないとダメと言われていた。将来の入学児童数は市として把握されていると思うが、危機的な状況にあるので、対策を考えないとダメ。この地域に子育て世代に住んでもらう施策等も考えないとダメ</li> </ul>	<p>地方創生交付金を活用して補っていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員ご指摘の通り、普賢寺小学校は他の小学校にない地域的特性があるため、他の学校で直ちに同じ制度を実施することは難しいと考える。普賢寺小学校に特認校制度を導入したときは、児童数減少により複式学級の発生が危惧されるという状況であった。一方、田辺東小学校は児童が170人おり、直ちに複式学級の発生が危惧される状況ではないため、現時点では特認校制度を導入する考えはない。</li> </ul>
-------------------------	--	--

<p>岡本亮一委員</p>	<p>と思うのでお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の防水シートについて、3年にわたり3回入札という奇妙なやり方をしたのはなぜか。</li> <li>・業者に聞くと、防水シートは1回でしないと意味がないと言われていた。工事の不手際があったときや、欠陥が出たときの補償をどうするという事は確約できていたのか。事業者が違えば、責任がどこにあるのか微妙な問題が出てくると思うがどうか。</li> <li>・その事業者が3面とも保証をするということか。</li> <li>・防水工事を請け負った3社のうち1社と連絡が取れなくなっているが、その業者だったらどうなるのか。</li> <li>・別件で他の防水工事の入札もあったが、中央公民館の防水工事をされた業者1社とは連絡が取れていないとのこと。保証の面は確認しておくようお願いする。それ以外にも今日は言わないが、びっくりするようなことを職員から聞き、確認もした。おかしなことが色々この工事にはあったということは言うておく。</li> <li>・三山木留守家庭児童会について224名、みんな</li> </ul>	<p>教育部副部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政的な問題で3回に分けた。</li> <li>・昨年度の請負業者から保証書をいただいております、全面について10年保証するというもの。</li> <li>・昨年度の請負業者から全面について保証するという書面をいただいている。</li> <li>・市から連絡が取れなかった業者というのは把握していないが、先日実際にこの下請け業者とは連絡が取れている。</li> <li>・おっしゃるとおり、学年が低いほど希望が多い状</li> </ul>
---------------	---	---------------	---

<p>(日本共産党 京田辺市議会 議員団)</p>	<p>のきが37名、S o l aが25名の合計286名で、市全体の3分の1が三山木小学校の学童となっている。特に学童保育を必要な方は1～2年生に集中していると思うがどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三山木小学校の学校施設内ではどの教室を使っているのか。</li> <li>・大事なことなので答えていただきたい。厚労省の放課後児童クラブ運営指針において、体調不良の際静養できる機能と、遊びなどの活動拠点としての機能を備えた専用区画が必要とされている。また専用区画については1.65㎡/人必要で、レイアウト等、子どもが心地よく過ごせる工夫が求められているが、図工室はこの指針に当てはまるのか、どのように認識されているか。</li> <li>・専用施設は機能を備えて作られているが、図工室のように固定された机のあるところにござを敷いている状態が子どもを預かる環境として良いのか。昨年度グラウンドに仮設校舎を建てたが、そもそも教室数が不足しているという点についてはどうか。</li> <li>・民間の2園に受け入れてもらってるのはわかっているが、そもそもの原因として急激に児童が増えた</li> </ul>	<p>況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は7学級開設している。どの部屋ということは資料が無いが、4学級が専用施設、3学級が学校施設を使用して運営している。</li> <li>・学校施設を使用する際は、ござを広げる等、静養できる空間になるよう努めている。</li> <li>・三山木留守家庭児童会については児童が急激に増えており、仮設校舎を建設しなければならない状況になっている。については留守家庭児童会については令和3年度より民間活力によって対応しているところ。</li> <li>・2園からは現在の人数しか無理ということは聞いている。</li> </ul>
-----------------------------------	--	---

<p>計算ミスにより仮設校舎で対応しているというところがあると思う。2園と言われたが、令和5年5月1日時点で326人のうち三山木小学校で233人、4月1日時点での民間2園で合計93人で、みんなのきが40人、S o l aが53人の定員いっぱい、来年の受入は難しいと聞いているが、その現状は認識されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長の施政方針にも、民間に支援をし、児童の放課後保育を着実に進めると言われていたが、支援しても枠が広がるわけではなく、何も対策をしなければ、学童の待機が発生すると予測しているが、何か対策はされているか。</li> <li>・三山木小学校に限らないということは、校区外で依頼しているということか。</li> <li>・2園というのはみんなのきとS o l a以外のことか、校区内に別の2園があるのか。</li> <li>・今教室はいっぱいであるが、来年度確保されるのか。</li> <li>・教室数は決まっているのでどこかを減らさないと増えないと思うが。</li> </ul>	<p>教育部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三山木小学校に限らないが、現在2つの民間事業者に運営できないか声かけをしている。</li> <li>・三山木小学校区域での声かけはまだしていない。</li> <li>・新たをお願いしているのは三山木ではないところ。三山木地域の児童増加については、学校施設の利用を増やしたいと考えている。</li> <li>・来年度は学校施設を利用して学級数を増やしたいと考えている。</li> <li>・三山木小学校は児童数の増加に伴い、児童数のピークを想定して仮設校舎を9教室建てたが、現在全</li> </ul>
---	-------------	--

<p>橋本善之委員 (自民一新会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9教室作ったが、1年生は7クラスで2教室空きがあり、旧校舎をどこか空けるよう学校にお願いして、学童の待機を出さないよう努めるという理解で良いか。</li> <li>・ 1・2年生は増え、民間にも限界があり、待機児童を出さないために、学校に重々お願いをし、しっかり受入をしてもらいたい。ござと言われていたが、環境も考えてもらいたい。</li> <li>・ タブレットについて、更新時期を迎えるのでは無いかと思うがその状況は。</li> <li>・ 3分の2の交付金と残りは府か市かという中で、来年度の当初予算から対応していかなければならないという理解で良いか。</li> </ul>	<p>学校教育課長</p>	<p>での教室を使うということではなく、一部空きがあると聞いているので、学校と調整の上、受入数を増やせるよう検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その通りである。</li> <li>・ 令和2年度に国の交付金を活用し、タブレット端末を導入したが、保証期間は令和6年度で切れる。ご指摘の通りその後の対応について検討が必要であるが、文部科学省の概算要求を見ると補助率3分の2、上限4万5千円でタブレット更新予算が示されている。端末の値段も上がっていると聞いており、今後検討はするが、一気に全て更新することは難しいと考えている。</li> <li>・ 令和6年度当初予算に向けての検討事項である。</li> </ul>
---------------------------	---	---------------	---

## 決算特別委員会審議状況報告書

令和5年10月16日（月）開催分

部局等名（教育部）

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
<p>片岡 勉 (NEXT京 田辺)</p>	<p><b>【決算特別委員会総括質疑】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学路の安全対策について、区・自治会やPTAの本市に対する要望の締切り時期はいつか。</li>   <li>・ 区・自治会とPTAの通学路の安全に係る要望を合わせて検討できないか。</li> <li>・ 通学路の検討結果について、区・自治会やPTAへの連絡を対話でできないか。</li>   <li>・ 小学校のプールの授業の民間施設活用について、令和6年度に全小学校で実施するに当たり、受け入れる民間施設のキャパシティなどは大丈夫か。また、全校生徒が活用することについて、授業カリキュラムについて、授業の期間などの変更はあるか。</li> </ul>	<p>教育部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTAの交通安全対策要望については、各単位PTAが夏休みに地域ごとで安全パトロールを行い、その上で要望内容を取りまとめられている。その関係で要望の締切りは例年9月頃、今年度は9月6日としている。</li>   <li>・ 区・自治会とPTAとでは、同じ要望箇所でも要望内容が異なる場合もあることから、双方で要望内容などを調整いただくことが望ましいが、どういった調整方法があるのか、時期も含め研究したい。</li>   <li>・ 令和6年度以降の水泳授業の実施については、現在、昨年度と今年度の試行結果を踏まえた検討を進めている。              仮に市内全小学校・全学年の水泳授業を民間施設等で実施することになった場合、市北部地域及び南部地域の2つの民間施設と田辺公園プールもあわせて対応したいと考えており、受け入れ能力としては十分あると考えている。</li> </ul>

<p>有田 幸平 (日本維新の会・ 無所属南部の 会)</p>	<p>・学校施設等の長寿命化を進める中で、美化やホワイトボードへの変更だけで終わりか。</p> <p>・学校施設のトイレ洋式化率の向上を。学校は避難所でもあるので、その観点からも進めるべき</p>	<p>また、授業のカリキュラムについては、これまでのように夏季だけではなく、年間を通じて組んでいけるものと考えているため、授業時間を減らすという考え方はなく、時期をずらすような形で組み立てていきたいと考えている。</p> <p>・学校施設の長寿命化にあたっては、躯体や外壁、設備の老朽化対策だけではなく、子どもたちが快適に生活できる施設環境の向上を図ることとしている。</p> <p>しかしながら、従来の学校施設自体が、廊下に面して教室を単純に配置した片廊下一文字型と言われる画一的な教室配置になっており、タブレット端末を活用した授業など、柔軟な教育活動が実施しにくい面もあるのではないかと考えるため、そういった面では長寿命化だけでなく、教室そのものも含めた学習環境の整備について、改めて考えていく必要があると考えている。</p> <p>・市立小・中学校のトイレの洋式化については、昨年度、便器総数に対する洋式便器の割合にも配慮しつつ、児童生徒数に対する数も考慮した上で、合わせて175据の洋式便器を設置した。これについては、特に教育上の配慮から進めてきたもの。</p> <p>一方で、内閣府の「避難所におけるトイレの確</p>
---	--	--

	<p>・生徒の偏在について、来年度から培良中の特色化を進めるが、それで解決できるのか、校区再編も含めて次の一手は。</p>	<p>保・管理ガイドライン」では、避難所となる施設の新設や大改修の際に洋式便器の設置を推進すべきとされていることから、現在、長寿命化工事を実施している田辺小学校においても、合わせてトイレの洋式化を行うこととしている。</p> <p>その一方で、公共施設を中心に依然として和式便器があるといった中での教育上の観点、また、便座に直接触れる洋式便器を望まない児童生徒への配慮から、一定程度は和式便器を残す必要があるのではないか、とも考えている。そのため、こうしたことも勘案しながら、今後、計画的にトイレの洋式化を進めていく。</p> <p>・培良中学校の特色化事業の取組については、元々学校間の児童生徒数の偏在解消を目的として進めていた。</p> <p>その中で、「市立学校間の児童生徒数の偏在の解消に向けた対策」について学校教育審議会でご審議いただいたところである。</p> <p>そこで、まずは「短期的に解決すべき課題への対策」として中間答申をいただき、教育委員会で基本方針を決定し、まずは培良中学校の特色化を進めているという現状である。</p> <p>今後は、中長期的な課題の解決に向け、引き続き学校教育審議会でも審議をいただく予定にしており、今議論いただいている中では、単なる数合</p>
--	---	---



<p>南部 登志子 (日本維新の会・ 無所属南部の 会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設への空調設置を。学校は避難所でもあるので、その観点からも進めるべき</li> <li>・中央公民館屋根防水工事について、なぜ、平たい屋根の防水工事を3回に分けてしたのか。1回目と3回目の受注業者が同じで、実際に工事は3回とも同じ業者がしており、最初からその業者が施工することが決まっていたと聞いている。それなら入札ではなく随意契約で良かったのではないのか。3回に分けた防水工事が本当に大丈夫なのか。</li> </ul>	<p>わせの議論に陥らないよう、校区再編だけではなく、多様な対策を含めた検討をしていくという流れになっている。</p> <p>今後、こういった答申をいただいた後には、教育委員会で改めて方針を決定したうえで、速やかな課題解決に向けて対策を進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設へのエアコンに関しては、普通教室と特別教室に設置されている一方で、体育館には設置されていない。</li> </ul> <p>体育館は、授業や部活動の場としてだけでなく、災害時には避難所としても利用されるということもあるため、導入手法や工事期間、断熱設備の必要性、電気容量などの条件整理を行い、今後設置に向けた検討を具体的に進めていきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館については、数年前より雨漏りが発生しており、緊急性の高いところから既決予算の範囲で屋上の防水工事を進めることにした。</li> </ul> <p>まずは、令和元年度に屋上の3分の1を施工し、その後、3年度と4年度で分けて実施し、4年度で全体が完了しており、その都度完了検査をしており、特に問題がないことを確認している。</p> <p>ただ、先日の大雨でロビーの天井にシミがあることを確認したため、保証の範囲の中で施工業者</p>
--	--	--

<p>岡本 亮一 (日本共産党京 田辺市議会議員 団)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補修を行うために下請業者が同じでないと困るため、施工業者が決まっていたのではないのか。</li>   <li>・ こんな防水工事は予算がないからということで分けてするのではなく、補正予算を組んでも一括で発注すべきだったのではないか。3回に分けて発注すれば雨漏りもするという業者もいる。</li>   <li>・ 小学校給食調理民間委託について、行革の中で人件費を抑えるために民間委託を進めるとしてきたが、直営と民間委託で児童一人当たりの経費に差がなくなってきた中で、このまま民間委託を続けていいのか。</li>   <li>・ 賃金の高騰により民間委託の経費がさらに上がってくると考えている。</li> </ul>	<p>に対応をお願いした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防水工事の発注にあたっては、どの下請業者が入られるか承知していなかったが、入札において最も安価な札を入れられた業者に発注したということである。</li>   <li>・ 全面施工できれば何よりだが、既決予算の範囲の中で特に緊急性の高い箇所を先行して実施したということ、やむを得ないと考えている。</li>   <li>・ 平成22年度から調理業務に関する民間委託の基本計画に基づき、定年退職の補充を行わず、委託を進めてきている。        仮に正職員を雇用し続けた場合は、経費的なことについては明らかに委託料を上回ると考える。        また、人件費の増加の中で、三山木小学校に関しては、給食調理室の建て替えによりウェット方式からドライ方式になったことや、食数の増加により必要な人員が増えていることも要因の一つだと考えており、直営方式よりも民間委託の方が財政面でメリットがあると認識している。</li>   <li>・ 民間委託により、業務内容や業務量に応じた柔軟なシフト管理をされていること、人材確保が容</li> </ul>
---	--	---

<p>河田 美穂 (公明党)</p>	<p>また、国内では受託業者が倒産して給食がストップした事例もあり、すぐに代わりの業者も確保できなかったことを考えると正職で調理員を雇うべきではないか。</p> <p>・タブレットの活用による不登校対策について</p>	<p>易であること、緊急時でも代替調理員の確保が可能ということになっており、最近ではコロナに感染、若しくは濃厚接触者になった場合に、直営であれば給食を提供できなかったかもしれない状況を回避できたこともあり、安定的な給食の提供につながったと考えており、民間委託するメリットは十分にあったと考えている。</p> <p>・本市の教育支援センターにおいては、数学の問題に挑戦したり、漢字の学習をしたりするなど、タブレット端末を活用し、通所する児童生徒への学習支援に取り組んでおり、児童生徒の学習意欲の向上にもつながっている。</p> <p>また、各学校においても、不登校児童生徒の状況などを総合的に検討した上で、具体的には、授業時の黒板の画像や、家庭学習の課題を配信するなど、支援の一つとしてタブレット端末の活用に取り組んでいるところである。</p> <p>今後も、各学校での活用状況や教育支援センターでの活用の成果を検証し、学習支援や、今後実施を予定している訪問支援での活用も含め、一人一人に応じた効果的な支援となるよう、取組を進めていく。</p>
------------------------	---	---